

いま、憲法9条を考える

石川県で



パネリスト 高野 孟 氏 (ジャーナリスト)
 堀 喜代治 氏 (北國新聞社論説委員)
 伊藤 真 氏 (弁護士・日弁連憲法問題対策本部副本部長)
コーディネーター 柴田未来 (弁護士・金沢弁護士会)

「憲法改正に向けた国民的な議論をいっそう深めていく」

2018年は、安倍首相の年頭記者会見でのこの言葉で始まりました。

日本海に面し、小松基地を有する石川県。9条に関しては県内でも様々な議論が交わされています。

この問題に深い知見をお持ちのパネリストと共に、9条がかかえる問題や改憲がもたらす影響等を一緒に考えてみませんか。

日にち：平成30年4月7日(土)

時間：午後2時～4時30分(開場 午後1時30分)

場所：金沢商工会議所(金沢市尾山町9番13号)

主催：金沢弁護士会

共催：日本弁護士連合会・中部弁護士会連合会

どなたでもご参加いただけます。お子さんの泣き声も歓迎！

参加費無料
事前申込不要

小松基地を有する石川県として自衛隊は身近な存在でもあり、県内には自衛隊関係者も多く居住しています。

また、北朝鮮の核ミサイル問題は、石川県に住む者にとってひとえに安全保障の問題だけでなく、日々の生活や経済活動にも影響を与えかねない深刻な問題です。

日本海に向けた度重なるミサイル発射を懸念してクルーズ船寄港がキャンセルされる例も生じ、県内のイカ釣り業が北朝鮮籍と思われる違法操業船に阻まれて大きな被害を受けています。不審な木造船が県内の海岸に漂着するなど、私たちにとって不安な状況が続いています。

このような隣国に対する恐怖心や警戒心の高まりもあって、憲法9条改正に関しては県内でも様々な議論が交わされているところです。

そこで金沢弁護士会は、専門家による閉じられた議論ではなく、一般の皆さまの懸念をふまえながら、憲法上の問題点や改憲がもたらす影響等について幅広く議論して頂く論点整理の場として本シンポジウムを行うことといたします。

パネリスト プロフィール

高野孟 氏 (ジャーナリスト)

1944年生まれ。「インサイダー」編集長、「ザ・ジャーナル」主幹。02年より早稲田大学客員教授。主な著書に「ジャーナリスティックな地図」(池上彰らと共著)、「沖縄に海兵隊は要らない!」、「いま、なぜ東アジア共同体なのか」(孫崎享らと共著)など。メルマガ「高野孟のザ・ジャーナル」を配信中。

堀喜代治 氏 (北國新聞社論説委員)

1948年生まれ。1973年株式会社北國新聞社入社。
1993年から論説委員会に所属し現在に至る。

伊藤真 氏 (弁護士・日弁連憲法問題対策本部副本部長)

1958年生まれ。1984年弁護士登録。
法学館法律事務所所長
伊藤塾 (法律資格の受験指導校) 塾長
法学館憲法研究所所長

金沢商工会議所： 〒920-8639 金沢市尾山町9番13号
TEL.076-263-1151 FAX.076-261-6500

<会場アクセス & 駐車場>

会場周辺の駐車場は限られておりますので、できるだけ**公共交通機関**をご利用下さいますようお願い致します。

会場地下駐車場 60台

周辺駐車場

- 金沢別院 大谷廟所駐車場
- カーパーク上堤町
- ラーム尾山町
- システムパーク尾山町

